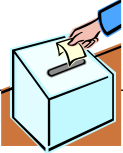




Media Center News

No.109 2014年5月9日 発行

読書ノート特需でこのところ1・2年生の貸出が目立ちますが、他の学年のみなさんも、本のある生活、始めませんか。爽やかな気候になってきたことですし、休日に木陰で読書なんて如何？



MCの意見箱、始めます。

信和会の「ことばこ」が下足室に設置されましたね。MCでも、みなさんの声を運営に活かしていけるよう、希望などを受けとめる意見箱を設置することにしました。

さすがに「MCで飲食がしたい」などの声には答えられませんが、「もっとDVDが見たい」「文庫本じゃなきゃ借りたくないからもっと文庫本をふやして」など、みなさんに便利に楽しく有意義に使ってもらえるよう、みなさんの声に耳を傾けていきたいと思います。

今月のコラムは、みなさんのOGでもあるK.N.先生が旧中学図書室の思い出を綴ってくれました。

来月以降も、新任の先生のコラムを掲載予定ですのでお楽しみに！



小学校6年生のとき、恵泉の学校説明会に母と来たら、今は無い旧校舎の中学図書室に見り紙が貼ってありました。右巻が、いろんな物語のあらすじが載っていて、「この本の題名わかるかな？」というクイズだったように思います。それらはどれもわたしが愛読していた本で、母と夢中で答えました。司書の先生もやさしくお話ししてくれました。恵泉の蔵書に心鬼されたわたしは受験を決め、ボイス学することができました。

梅組の掃除分担に図書室が入っていたので、たくさん飾られている絵を眺めるのがたのしみでした。かつて美術を教えていた高岸昇先生の絵が特に好きです。

当時の「図書室の使い方」の本の表紙には虫策が描かれています。絵も物語も非日常へ少し飛び出した手段です。

登場人物クイズの答えは次号にて。あなたはいくつわかりましたか？

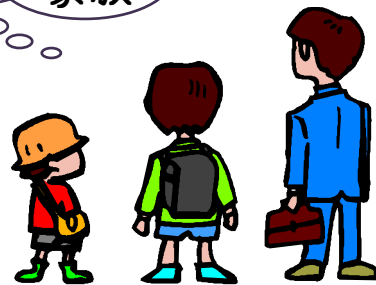
MCでは、常にさまざまな展示を行っています。
恒例の「今月のテーマ」に加え、現在大きく展示しているものをご紹介します。

今月のテーマ 5月



うっとおしくて、めんどくさくて、
うるさくて...
でも何だかんだで大切な存在

家族



札幌市白石区だけを守るヒーローの話や、北海道出身の著名作家の本などの読み物から、やっぱり外せない北海道の美味、これって北海道とどう関係するの?という本まで、道産子がの先生がMC中から集めてきました。

いま見られる!これから見られる!

ドラマ化&映画化作品 特集

読書に興味はないわ、という人にも人気の高い映像化作品。いまテレビでやっているあのドラマ、もうすぐ公開されるあの映画、いろいろな映像化作品の原作が一堂に会しました。見る前に読むか、読んでから見るか。あなたはどちら派?

祝! アンデルセン賞受賞

上橋菜穂子 特集



児童文学のノーベル賞と言われる「国際アンデルセン賞」の2014年度作家賞を、『獣の奏者』や『守り人』シリーズで人気の上橋菜穂子さんが受賞しました。日本人がこの賞を受賞するのはまどみちおさんに続く2人目。未読の方はこれを機に手に取ってみませんか?

このほか「歴代見学旅行のしおり」、図書部で今年度開催予定の「ビブリオバトル」、「季刊よんでる?」(3年生)、「建築家 安藤忠雄」(4年英語)などの展示も行っています。もちろん、図書部の「鍵」で紹介した本のコーナーや、漫画部・文芸部の棚も健在です。

「こんな特集をしてほしい!」などの要望がありましたら、ご意見箱へお寄せください。

史料室から

今月17日に、2013年11月に99歳で亡くなられた「山口美智子先生を偲ぶ会」が催されました。

山口美智子先生は、恵泉の園芸教育の礎を築いた方のおひとりで、学生とともに生活をしながら(園芸科は全寮制でした)、キリスト教信仰に基づいた女子教育に尽力されました。

卒業生は42年間で2500名を超えます。

山口先生の写真、著書など関連資料を展示しますので、思いを馳せてみてください。

